

シン・子育て王国とっとり計画の策定にあたり、みなさまから頂いた意見と計画への反映状況について

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
		ページ	項目	内容
妊娠期・産後の相談・情報収集	相談できる場所を事前知っておくと安心。相談しやすい雰囲気があり、夜間も相談できる場所があると嬉しい。	4	4(1)①	<ul style="list-style-type: none"> ■必要とするかたに相談窓口が十分認知されるよう周知を進めます。 ■現在の相談窓口に、LINE等の相談窓口の追加を検討します。
	LINEやインターネットで相談できるとよい。			
	初めての妊娠・出産・育児はわからないことばかりなので、紙の情報よりも、対面で伝えてもらったり、事前に勉強する機会があるとよい。困った時に、ここならいつでも誰かが教えてくれるという場所があり、その場所の情報だけは必ず伝える仕組みがあるとよい。	5	4(2)①ア	<ul style="list-style-type: none"> ■妊娠などに関する正しい知識の普及啓発や相談支援により、妊娠出産を切れ目なく支援します。また、相談窓口の一層の周知を行います。
		6	4(2)①ウ	<ul style="list-style-type: none"> ■妊産婦の不安の解消、心の休息をとれる居場所として、助産所の利用を周知します。 ■どこに住んでいても産後ケアを受けられるよう、十分な施設・助産師の確保に取り組みます。
子育て支援センター・祖父母のサポート	経験値のある親（祖父母）に頼れると心強い。	4	4(1)②	<ul style="list-style-type: none"> ■地域での子育て支援を担う貴重な人材である祖父母世代の子育て支援者としての活動を推進します。 ■地域の資源・人材を活用した子どもの居場所や親子の相談・交流拠点づくりを推進します。
	子育て支援センターの利用時間を午前と午後に分けず、いつでも連れていけるとよい。また、就園していても利用できるとうい。	5		
不妊治療	治療の精神的・経済的負担が大きいので、助成金の増額と対象範囲の拡大をしてほしい。	5	4(2)①イ	<ul style="list-style-type: none"> ■経済的負担を更に軽減していきます。また、保険適用範囲の拡大を国に働きかけます。
産後ケア	産後ケア施設の利用対象を、支援者の有無にかかわらず出産を終えた全ての人にしてほしい。	6	4(2)①ウ	<ul style="list-style-type: none"> ■十分な施設や助産師確保に取り組み、産後ためらわず支援を受けることができるよう市町村等と協調しながら整備を進めていきます。 ■妊産婦の不安を解消し安心して子育てできるよう助産所の周知を進めます。
	産後ケア施設や施設のサポート内容を妊娠中に知ることができ、産後すぐから利用できる仕組みづくりをしてほしい。			
	施設の老朽化に伴う補助金があるとよい。			

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
健診	乳幼児健診の待ち時間の負担が大きい。午前中や夕方等親子優先の時間設定や、集団健診ではなく少人数制の場を設けてほしい。	—	—	乳幼児健診の実施、母子健康手帳の交付は市町村が行うこととされており、県で対応方針を決めることができないため、計画に反映することができませんでした。なお、市町村には皆さまのご意見を提供しています。
	母子手帳の受取負担が少なくなれば良い。	—	—	
交流拠点	同じ悩みを持つ家庭や保護者が集まれる会や講話があればよい。	4	4(1)②	<p>■乳幼児期の保護者が多く利用する施設において保護者自身の成長につながる学びの機会を提供します。</p> <p>■こども家庭センターの設置、地域の資源・人材を活用した子どもの居場所や親子の相談・交流拠点づくりを推進します。</p> <p>■子ども食堂の立ち上げの支援や、子ども食堂が円滑に活動できるよう市町村を通じて必要な支援を行います。</p>
	子ども同士、親同士が関われる拠点がもっと増えたらよい。	1	3	
	子ども食堂のような声を掛けやすい、相談しやすく関係が築きやすい場所が増えるとよい。	4	(3)③	
企業・行政との連携	授業の成果を企業に結び付けるコーディネート的な支援があればよい	1	2(1)	■子ども・若者を権利の主体とした施策を行っていくために、その意見を聴きともに進めていきます。
	高校生と県が一緒になってイベントやプロジェクトを企画する仕組みができるとうい	2	2(2)	■子どもの年齢や発達に応じて意見を表明する機会を確保し、その意見を尊重するとともに、多様な社会的活動に参画する機会を作っていきます。
	なりたい職業の人と話せる機会、支援が欲しい			
保育	保育士の処遇改善や働き方等労働環境を見直してほしい。	6	4(2)②ア	<p>■市町村と連携しながら、潜在保育士の復職支援や地域限定保育士制度の活用など保育人材不足を解消する取組を進めます。</p> <p>■県独自の加配制度による配置基準改善と保育現場の負担軽減を図り、多様な保育ニーズに対応していきます。</p>
	就労認定や無償化の書類が複雑で間違いやすいため子育て関係手続きを簡素化してほしい。			
	保育園や幼稚園の途中入園ができにくく、希望する時期に入園できない。			
	認定こども園や常駐看護師の数が増えてほしい。			
	すぐ予約が埋まるため突発的に預けられないことや、緊急性を問われ中々預けることができないため、一時預かり施設を増やしてほしい。			
	保育園にも保育施設までの送迎があればよい			
<p>計画には記載していませんが、保育士の処遇改善について国に継続して要望しています。</p> <p>また、ご意見は保育の実施主体である市町村へ提供しています。</p>				

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)	
病児保育	<p>予約の時点でキャンセル待ち等利用したいときに利用できないため病児・病後児保育施設を増やしてほしい</p> <p>居住地で利用施設が限られているが勤務地のある地区の施設で利用が可能になると助かる</p>	8	<p>4(2)②オ</p> <p>■病児・病後児保育施設の設置運営に必要な支援に取り組みます。 ■市町村や利用者等の意見を聞きながら、病児・病後児保育サービスの充実を進めていきます。</p>
食育	若いうちから食育に力を入れてほしい。グルテンフリーやガゼインフリー、トランス脂肪酸や遺伝子組換えなどについて正しい知識や情報を知る機会を作ってほしい。	9	<p>4(3)①ア</p> <p>■健全な食生活を身につけ実践するため、子どもや保護者への情報発信、学校における指導を充実します。</p>
性教育	性に関する知識とともに、自分を大切にできる心を育み、しっかりと意思表示ができる子を育てていくことが必要なので、学校での性教育を充実させることを検討してほしい。	9	<p>4(3)①イ</p> <p>■助産師等専門家の学校への派遣、学習会や啓発冊子を活用して正しい知識の普及を図ります。</p>
子どもの人権	子どもに関わる人に、子どもの人権、教育虐待、教室でのマルチトリートメント（避けるべき子育て・不適切な養育）について知ってもらいたい。	9	<p>4(3)①ウ</p> <p>■教職員、保護者や地域住民が子どもの人権の重要性について学習する機会の充実を図ります。</p>
遊び場	<p>雨の日や夏の暑い日でも遊べる屋内施設を増やしてほしい。</p> <p>地域（校区内）に子どもだけで安心して遊べる場所が増えるとよい。</p>	10 21	<p>4(3)①オ</p> <p>5(2)①</p> <p>■公民館や児童館等を活用し、子どもの居場所づくりや保護者同士の交流が促進されるよう支援します。 ■親子連れの方が気軽に立ち寄れる屋内施設の整備(校区内公民館の活用促進等)を行う市町村を支援します。 ■鳥取砂丘こどもの国に室内遊具を設置し、屋内で安全に遊ぶことができるインドアプレイグラウンドを整備します。</p>

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
子どもの能力向上	子どもの能力向上のため、塾講師・地域スポーツ指導員の派遣や所得制限なく塾代助成などの支援があるとよい。	10	4(3)①工	<p>■体力向上に係る各学校の取組や地域と連携した取組を推進します。</p> <p>■子どもが安全に様々なスポーツを楽しむとともに、全国や世界での活躍など高みを目指すことができる環境づくりを進めます。</p>
体験活動・伝統文化の取り入れ	小学生以降も自然体験に多く取り組めるよう、サマープログラムの実施など、子どもの能力を伸ばす機会を増やしてほしい。	10	4(3)①オ	<p>■自然の中での遊びや地域の文化・伝統などを学び、体験・探求活動を通じて心身の成長を促すとともに、ふるさとキャリア教育を推進します。</p>
子どもの居場所	<p>夏休み中に、子どもが勉強や遊ぶことができる場所があればよい。</p> <p>公民館の利用について、出入りが自由にできる等見直してほしい。</p> <p>支援学校以外でも通えるところが増えてほしい。</p>	10 13	4(3)①オ 4(3)③	<p>■地域の資源や人材を活用し、地域全体で子どもの居場所づくりを支援します。</p> <p>■放課後児童クラブの受け皿が不十分な市町村や放課後等デイサービスを実施する事業所等の施設整備を支援します。</p> <p>■公民館等の社会教育施設が、地域のつながりや多世代間交流を深める場となるよう支援します。</p> <p>■公民館や児童館等を活用し、子どもの居場所づくりや保護者同士の交流が促進されるよう支援します。</p>

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
通学環境	<p>通学路に街灯が少なく怖いと思うことがある。少し明るくなると助かる。</p> <p>通学路に死角が多いので、ミラーがあるとよい。信号がない道も多く、小学生が走っていくので危ない。</p> <p>高校の通学が不便。通学で1本電車を逃すと帰りが遅くなり、生活リズムが狂い勉強にも影響する。午後の電車・バスを増やしてほしい。</p> <p>通学時にバスを利用する人が多く、混雑して乗れないことがあるので、本数を増やしてほしい。</p>	10	4(3)①カ	<p>■定期的な通学路の合同点検による問題個所の改善、防犯ボランティアの拡充等通学路における見守り活動を強化していきます。</p> <p>■鉄道事業者の利活用の促進、交通事業者の供給力確保、自家用有償旅客運送の活用や、地域の送迎サービスとの連携を推進します。</p>
医療	<p>地域に小児科が少ないため近くに病院があるとよい。</p> <p>子どもの病気のことや病院について相談する窓口がほしい。</p>	11	4(3)①ク	<p>■小児医療に従事する医師確保、総合診療医の育成強化、市町村における医師確保の取組の後押しによる地域偏在対策や専門医の育成等を推進します。</p> <p>■保護者の不安軽減を図るため、とっとり子ども救急ダイヤル（#8000）を拡充します。</p>
地域との関わり	<p>子どもが気兼ねなく楽しめる音楽コンサートや長期休みの平日に親子で参加できるイベントを企画してほしい。</p> <p>地域のイベントや交流の場がもっと増えるとよい。</p> <p>地域とのつながりが薄れていると感じるため同世代の人と関われる機会があれば良いと思う。</p>	10 13	4(3)①オ 4(3)③	<p>■学校や地域において、子どもたちが文化芸術に触れる機会を充実させます。</p> <p>■地域の資源や人材を活用しながら、地域全体で子どもの居場所づくりを支援します。</p> <p>■公民館等の社会教育施設が、多様な主体と連携・協働して地域のつながりや多世代間交流を深める場となるよう支援します。</p> <p>■こどもや親子連れの方が気軽に立ち寄れる遊び場、交流の場作りを進める市町村を支援します。</p>

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
放課後児童クラブ、放課後等デイサービス	学童の利用料を見直してほしい。	13	4(3)③	<p>■放課後児童クラブや放課後等デイサービスを設置運営する市町村等を支援するとともに、放課後児童クラブの受け皿が不十分な市町村や放課後等デイサービスを実施する事業所等の施設整備を支援していきます。</p> <p>放課後児童クラブ（学童保育）は市町村で運営基準等が定められており、利用料について県で対応方針を決めることができないため、計画に反映することができませんでした。なお、市町村には皆さまのご意見を提供しています。</p>
	学童で給食の提供があると助かる。			
	小学校に上がり小1の壁にぶつかっている。夫婦共働きで学童に預けているが、夏休みはとても困った。			
	放課後等デイサービスについて、利用料が所得により決まることについて疑問である。			
子ども食堂	夏休みや土日に利用できる子ども食堂がもっと地元ほしい。	13	4(3)③	<p>■子ども食堂の立ち上げ及びネットワークづくりを支援するとともに、円滑に活動を継続できるよう市町村を通じて必要な助成をしていきます。</p>
	季節のイベントをもっとできるよう補助してほしい。			
子どもの貧困	夏休みの子どもの食料物資支援をしてほしい。			
自習スペース	高校生の子どもが自習出来る所が非常に少なく困っている。	13	4(3)③	<p>■地域の資源（公民館や図書館等の既存施設）を活用しながら地域全体で子どもの居場所づくりを支援していきます。</p>
	図書館は夜7時で閉まるので、夜9時まで空いているようなところがあれば。			
	wifiの使用ができる自習スペースを駅周辺に作ってほしい			
学校以外の学び環境	入学時に全保護者と教育関係者が不登校になったときのことを知っておくことが大切。不登校とか、生きづらさを感じている子どもを、学校教育でどう減らしていくかということはずごく大切。先生だけに任せるのではなく、地域や保護者も関わりながら取り組めるといいと思う。	14	4(3)⑤	<p>■多様化・複雑化する不登校の要因・背景を的確に把握し、学校、家庭、関係機関が連携しながら支援方法の共有や個々の子どもに応じたきめ細かな支援、ICT等の活用による児童生徒の心の状況を把握しながら関わる校内支援体制づくりを進めます。</p> <p>■保護者が相談しやすい環境を整え、広く情報を伝えるため、相談窓口周知のリーフレットの配布やインターネットを通じた情報提供を推進します。</p> <p>■教育支援センター、学校の出席扱いとなるフリースクールの拡充や、児童生徒の通所費用等の支援の充実、自宅学習支援員によるICT等を活用した学習支援など、子どもの成長にふさわしい安全・安心な居場所づくり、多様な学びの機会を確保します。</p>
	学校の一斉学習に苦しんでいる子が、毎日通えて、活動できる場所が必要。			
	学校以外の選択肢を増やし、学校と同等の資格を得られるようにしてほしい。			

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
就職・Uターン就職	<p>県外で就職した方が帰ってきて働けたり、住みやすかったりする環境があると戻ってきてもらいやすい。</p> <p>農業に憧れを持つ方は多いが、実際農業をすることになると難しいこともある。最近はIT技術を身につける人が増えていると思うので、そういう技術を生かせる職場があれば戻って来やすいと思う。</p> <p>鳥取は住み心地がいいし、食事もおいしいが、最低賃金が全国最下位だから、そこを考えてしまう。就職時のサポートがあればと思う。</p>	16	4(4)①イ	<p>■県立ハローワークにおける求人・求職マッチング、カウンセリング、企業説明会と併せ、学生が参加しやすく魅力のあるインターンシップを推進していきます。</p> <p>■県内の大学生による若者目線の若者県内定着に向けた取組の企画、情報発信を支援するとともに、本県出身者等の関係人口との関係性を持ち続けるための仕組みを再構築します。</p>
出会い・結婚	<p>金銭面の心配があり結婚に対する意識が低い。</p> <p>婚活イベントにまだ抵抗があり参加しづらい。</p> <p>何歳で結婚したら、子育てにいくら、大学でいくらなど、ライフステージごとにどのくらい費用がかかるか、分かる資料があると良い。</p>	17、 18	4(4)② ア、イ、エ	<p>■結婚に伴う新生活の費用等を支援する結婚新生活支援事業を行う市町村の拡大を図り、県全体として結婚を応援する体制構築や機運醸成を目指します。</p> <p>■自然な出会いの創出、メタバース空間を活用した婚活イベントなど、多様なニーズに対応した出会いの機会創出を拡大します。</p> <p>■多様な主体によるライフプランセミナーを開講しているが、講座への興味関心を持ってもらうよう普及啓発を実施し、若年層やこれから結婚・子育て期を迎える層へライフプランを真剣に考える場を提供します。</p>
医療費の負担軽減	<p>県内全市町村で子どもの医療費が無料にならないか。</p> <p>ひと月の受診回数が増えると医療費負担が増額するので困っている。</p>	—	—	18歳以下の子どもの医療費について、県と市町村が協調し令和6年4月から完全無償化しました。
保育料の負担軽減	<p>給与に関係なく一律に保育料の無償化をしてほしい。</p> <p>第2子以降の保育料完全無償化または負担軽減を（第2子保育料は同時在園に関わらず半額にしてほしい）。</p> <p>保育料の所得制限を撤廃してほしい。</p>	19	5(1)②	■市町村や保育現場の意見を踏まえながら、子育て世帯の経済的負担軽減のために、本県独自の更なる保育料の軽減策について検討を進めていきます。

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
在宅保育への支援	在宅保育支援金の対象年齢を満3歳まで拡充してほしい	19	5(1)③	■在宅育児世帯への支援に取り組む市町村に対する経費補助について、支援の対象年齢や上限額の引上げ等更なる拡充について、市町村の意見を踏まえながら検討していきます。
高校生、高等教育の費用支援	高校・大学の教育費の支援をしてもらえるとよい。生まれたときの不安もあるが、将来の不安も減らしていけるとよい。	19、20	5(1)④～⑥	■国による就学支援金制度及び県独自の支援金制度により経済的負担の軽減を図っていきます。また、さらなる高等教育の費用負担軽減等が国制度として実施されるよう求めていきます。
	所得に関わらず高校まで無償化してほしい。			
	高校生まで金銭的にサポートがあると子どもを産みやすい。			
その他経済的負担軽減	家事負担軽減のための公費によるホームヘルパーの拡充やサービスが受けれるとよい。	20、21	5(1)⑦	<p>■子育て支援等に取り組む市町村への財政的支援の継続とその拡充について検討していきます。</p> <p>■給食費の無償化については、国の「こども未来戦略」において具体的方策を検討することとされており、今後、国の動向を注視していきます。また、給食費の無償化など財政負担の大きい包括的な仕組みづくりは、国の責任と財源をもって全国一律で実施していただくよう、引き続き国に求めていきます。</p> <p>■家賃低廉化助成や公営住宅における子育て世帯への優先入居制度の導入を市町村へ働きかけていきます。</p>
	ファミリーサポートセンター利用料金の助成や手続きの簡素化等さらに利用しやすい施設になれば良い。			
	ごみの量を考え、出生時のごみ袋をやめて代わりに布おむつセットにしてほしい。			
	習い事の送迎に係る金銭面の負担も含めてサポートしてもらえると嬉しい			
	子育て用品のリサイクルショップやレンタルショップがあれば助かる			
	部活動は、義務教育での部活であるため、送迎や費用負担が必要だと考える。			
	第三子出産時にファミリーカーの補助金があればよい。			
	物価が高騰しているため子育て関係物品を助成してほしい。			
	東京のような毎月の支援金や、低所得家庭に該当しない家庭に特別給付、保育園等入所するまでの支援金を支給した方がよい。			

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
	給食費を無償化してほしい			
	給食費は2人目から半額、無償化や補助金のようなものがあると嬉しい。			
	空き家を活用し子育て世帯に安く貸す等支援があればよい			
	副教材費や学校行事の費用(修学旅行等)の負担が軽減されるとよい			
ハートフル 駐車場	ハートフル駐車場の対象利用期間を延長してほしい	21	5(2)①	■シン・子育て王国とっとり運動として、未就学児等をお連れの方に駐車していただける子育て応援駐車場の設置を推進していきます。なお、ハートフル駐車場については、令和6年度から多胎児の場合の利用期間が産後3年に延長されています。
子育て応援設 備	ベビールームやベビーカーの設置店を増やしてほしい、また幼児用の小さい便座や補助便座が設置されている施設が増えるとよい。	21	5(2)①	■子育て応援駐車場など「シン・子育て王国とっとり運動」の取組を推進します。
	市民プールや温泉に家族着替えルームを作してほしい。	22	5(2)②	■子育て世帯に対するサービス提供等を行う子育て応援パスポート事業の協賛店について、子育て世帯のニーズを踏まえた店舗の開拓を行っていきます。
	女性に限らず老若男女が利用できる育児スペース作りを推進してほしい。			
託児	スーパーでの買い物時や免許更新時の託児サービスがあるとよい。			

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
子育て支援情報	子育て支援の情報を分かりやすくまとめてほしい。	4	4(1)①	<ul style="list-style-type: none"> ■SNSや子育て王国とっとりアプリのプッシュ機能を活用し、適時に複数の媒体で広報を行うことにより、相談を必要とする方に相談窓口が十分に認知されるよう周知を行っていきます。
	自治体から配付されるパンフレットやチラシがもっと見やすいものになってほしい。	23	5(2)④	<ul style="list-style-type: none"> ■とりネット等への情報掲載方法を改善し、必要な情報にアクセスしやすい環境を整備します。 ■子育て王国とっとりアプリの利用者を拡大するとともに、アプリのプッシュ通知機能等を改修し、必要な情報を適時に対象者に届けます。 ■子育て支援者・団体が子育て当事者と行政を繋ぐ仕組みを検討します。
子育て応援施設	子育て応援パスポートにJR利用時の特典や使える施設が増えるとうい。	22	5(2)②	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て世帯のニーズを踏まえて協賛店の開拓を行っていきます。
男性の育児参加	父親の子育てに関する教育の場があるとよい	23	5(3)①	<ul style="list-style-type: none"> ■助産師による赤ちゃんへの接し方などを伝える出前講座の実施などを通じて、男性の家事・育児への積極的参画に向けた環境づくりを行います。
家事と仕事の両立	家事と仕事の両立ができるようなサポート体制を作ってほしい。	24	5(3)②	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画推進企業の認定拡大、イクボス・ファミボス理念の普及を進めます。 ■働き方改革や子育て期の従業員のキャリア継続・形成のための取組を行う企業等への支援を行います。
家族との時間 妊娠休暇・ 育児休業	家族と一緒に過ごせる時間が増えるよう「家族の日」を設定し仕事から早く帰れる日をつくるのが良い			<ul style="list-style-type: none"> ■男性従業員の育休取得の促進に取り組む企業に対する専門家による助言・伴走支援や奨励金支給を行い、国の育児と仕事の両立支援策と併せて、男女問わず子育てしやすい職場環境整備を支援します。
	育児休暇を取得しやすい環境になってほしい			<ul style="list-style-type: none"> ■「男性の育児休業取得が当たり前」の機運醸成を図るため、県民・企業を対象とした普及啓発を行います。
	仕事量の負担が増える従業員へ手当をつけることで一緒に働く人たちにも恩恵を受ける			
	育休から復帰した後の対処も（昇格にも影響ないように）必要だと思う			

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
看護休暇・子育てしやすい環境	取得日数と対象年齢の拡大してほしい			
	有給休暇の取得を促進してほしい			
	産前のつわり等で体調が崩れやすいため妊娠期の公的なフォローがあればよい			
	緊急時の際の休暇取得で共働きの家庭が困らない制度を確立してほしい			
	教員の負担が大きいため働き方改革として具体的な対策を出してほしい			
ひとり親家庭	ひとり親家庭の児童扶養手当の所得制限を無くしてほしい	24～26	5(4)②④	<p>■ひとり親家庭が自立した生活を送ることができるよう、親に対する効果的な就業あっせん、子育てと仕事の両立支援などを行います。</p> <p>■家庭の経済状況にかかわらず、全ての子どもが学ぶ意欲を喚起され、その能力や適性に応じて希望する進路に進めるよう、保育や教育にかかる費用を助成します。</p>
	ひとり親家庭の副業支援を検討してほしい			
障がい児への支援	災害時に、人工内耳を付けている者は、機器の充電ができない環境になると、まったく聞こえなくなるので、充電ができる環境は用意しておいてほしい。	—	—	地域防災計画などで対応することになりますので、本計画には記載していません。 なお、ご意見は担当課にも共有しています。
	小児科に車いすが入るスロープをつけてほしい。	—	—	病院のバリアフリー化は別途法令に基づき対応されていますので、本計画では記載していません。
	障がい児を育てるのにお金がかかる。相談したいがどこに相談していいかわからない。障がい児、医療的ケアの必要な子に対しての支援を受けたい。	31	6(4)①	<p>■県立療育機関において、保護者等からの療育相談や、家庭や幼稚園・保育所、学校等を訪問し、地域生活に関する相談に応じる地域療育支援を行っています。</p> <p>■県立療育機関で行っている地域療育支援を継続し、幼稚園・保育所、学校等における支援スキルの向上を図るとともに、障害児相談支援事業所の指定増加や児童発達支援センターの早期設置を市町村に働きかけます。</p>

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
手話	社会全体で手話言語で話ができるよう手話を覚える場を作ってほしい。	34	6(4)⑥	<p>■手話言語を広げるため、学習教材の作成、活用を推進するとともに、手話普及支援員を派遣した学習活動を支援します。</p> <p>■手話カフェ及びICTの活用等により、誰もが手話言語に触れ、学べる環境づくりを進めます。</p>
聴覚障がい	聴覚障がい者向けのサービスについて、使いやすいよう工夫があるとよい。	32	6(4)②	<p>■きこえない・きこえにくい子どもの保護者等が相談しやすい環境を整え、早期支援につなげます。</p>
医療的ケア児	医療的ケア児の家族会をLINE上で立ち上げた。当事者の思いを県の施策につなげたいと思っているので力になってほしい。	—	—	<p>計画には記載していませんが、担当課で対応させていただきます。</p>
他校との交流	誰でも参加できる交流イベントやeスポーツの大会を企画し、他校の高校生と関わる機会があればよい。	31	6(4)	<p>■障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう、関係機関が連携して支援を行うとともに、地域での理解及び関心を深めていきます。また、手話言語やスポーツ等を通じた地域での交流活動や啓発の機会を確保します。</p>
	手話パフォーマンス甲子園に参加した学校など学校同士の交流をもっと増やしてほしい	34	6(4)⑥	<p>■文化芸術活動を通じた地域との交流を促進します。</p> <p>なお、県教育振興基本計画には、学校間の連携を推進し、障がいのある者と障がいのない者の交流及び共同学習を計画的、組織的に行うことを推進すること（41ページ）、特別支援学校の生徒等と他の学校の生徒等との文化芸術活動を通じた交流により、障がいへの理解を進める旨を記載（72ページ）しています。</p>
児童虐待	出産初年度は、虐待等を防ぐためにも家庭訪問をした方がよい。	34、 35	6(5)①	<p>■地域住民、若者、企業を対象に年間を通じた啓発活動を実施し、児童虐待の未然防止や子どもの権利擁護に関する重要性の周知を図ります。</p>
施設に入所する子どもの意見	施設に入所する子どもは、意見を言っても聞いてもらえないと 思い、意見を言えていない子が多い。	37	6(6)③	<p>■子どもの意見表明権を保障するため、アドボキッド（意見表明支援員）を養成し、児童相談所や児童養護施設等に派遣して、子どもの意思表示のサポートや児童相談所や施設の職員に意見を伝えるサポートを行う取組を充実させます。</p>

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
性犯罪	子どもに対する性加害について、加害を受けたり、見受けられたら第三者へ報告する等を繰り返し伝え、事件が起こる前に対策をとる必要がある。	39	6(7)③ア	<p>■保育施設、児童養護施設等の職員や学校の教職員への研修のほか、保育施設等を通じて、保護者へ性犯罪・性暴力に関する啓発、相談先等の周知を実施します。</p> <p>■鳥取県DV予防啓発支援員の養成とともに、子どもに対して、発達段階に応じて性の権利やデートDV 予防等の啓発・学習会を行い、性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための性に関する正しい知識や被害に遭った際の具体的な対応等の学習機会を提供します。</p> <p>■県の機関、市町村、関係団体等が連携を図りながら性暴力に関する広報・啓発を行っていきます。</p>
児童手当	所得制限の撤廃や手当の増額、取扱いについて仕組みを改善してほしい	—	—	国の子ども未来戦略の中で児童手当の所得制限をなくすことや内容の拡充が示されています。
災害時の対応	災害時に行政が対応する部分と自分自身が対応する部分の提示や、JRで車内に状況を知らせる視覚情報、対応方法の表示があればよい	—	—	地域防災計画の内容となりますので、本計画には記載していません。なお、担当課にもご意見を共有しています。
聴覚障がい者の移動手段	駅を起点に聴覚障がいのある子どもがよく利用する施設を経由するループバスがあると良い(ノバリア、市民体育館、手話サークルなど)	—	—	公共交通計画の内容となりますので、本計画には記載していません。なお、担当課にもご意見を共有しています。
特別支援教育	鳥取市内の県立高校や私立高校に特別支援学級を新設してほしい	—	—	学校の運営方法であるため、本計画には記載していません。なお、鳥取県の「教育に関する大綱」(以下「教育大綱」という。)には、一人一人に寄り添い多様なニーズに対応した特別支援教育の充実について記載しています(大綱14ページ)。なお、令和6年度は、高等学校における通級の巡回指導の必要性について、調査・研究を実施しています。また、私立学校あいサポート教育推進事業において、特別な配慮が必要な生徒の学習環境の整備や特別支援担当教員の相談業務に対して支援を行っています。

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
小学校の統合、校区見直し	1学年10人に満たないクラスもあるため中心市街地の小学校統合を早く行ってほしい。 通学時間を考えると小学校区の見直しをした方がよい	—	—	小学校の統廃合や校区の見直しについては、各市町村教育委員会において検討されるものであるため、本計画では記述していません。 なお、市町村にもご意見を提供しています。
情報機器の活用	ipad等の機器をもっと普及させた学習があるとよい。 生徒の情報機器に対する知識と教員平均の知識・技術のレベルにズレがある。機器のレベルと先生方のレベルの向上があると助かる。せっかくiPadがあっても、教科によっては先生が使えないので授業で使わないこともあるので、もったいないと思うし、もっとiPad等の機器を活用すれば家での学習がもっと効果的になるのではと思う。	—	—	学校における教育に関することは、本計画に記載するほか教育大綱や教育振興基本計画に沿って取組を推進します。なお、教育大綱にはSociety5.0 時代につながる教育DXの推進として、一人一台端末の活用による12年間の連続した学びを進めることや、県内すべての学校における端末活用の日常化、教員のICT活用指導力の向上などについて記載しています(教育大綱8ページ)。
英語教育、留学	成績の為ではなく、英語を学ぶ目標があってほしい。 語学勉強ではなく、異文化や価値観を広げるため、小中学校からホームステイや短期留学の支援をしてほしい。	—	—	学校における教育内容に関することは、本計画に記載するほか教育大綱や教育振興基本計画に沿って取組を推進します。なお、教育大綱にはグローバル化に対応する英語教育、海外留学の推進、国際バカロレア教育を始めとした探究的な学びの展開について記載しています(教育大綱2、8、9ページ)。
校内環境、学校運営	wifi等設備強化をしてほしい。 校内の環境を改善してほしい(洋式トイレを増やして、教室に虫が出る、雨漏りがする、図書室の本を増やして、道具を洗う蛇口を増やしてなど)。 図書館の本の場所を調べたり、自動で借りれる機械があったらよい。 学校のグラウンドに設置してあるトラックの紐が子どものけがに繋がり、危ないため不要だと思う。 プールに屋根があれば天候に左右されず利用できる。また、扇風機設置数を増やすなど夏場の対策をしてほしい。 給食について、1人当たりの量が少ない。	—	—	学校の運営、校内における設備や機器等の整備に関することであり、各学校で判断される内容であるため、本計画には記載していません。なお、県教育委員会にもご意見を共有しています。

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
	配膳準備を考慮して給食時間を延長してほしい。			
	小学生の登下校時間を30分遅らせてほしい。			
	欠席時の連絡、アンケート、出欠等がスマホでできるようになれば双方の負担が軽減される。			
	公立小学校でも制服があればよい。			
	長袖、長ズボンの体操服を作ってほしい。			
PTA・学校行事	学校行事やPTA、子ども会の役割等負担が大きい、あり方について見直してほしい(無くす、委託性、参加を希望する保護者に限定するなど)	4 11	4(1)② 4(3)①ケ	住民の地域社会への帰属意識や地縁的なつながりが弱まり、地域の教育力の低下が課題となっています。県としては以下のとおり、子ども会活動を推進していくこととしています。 ■子ども会活動の活性化を推進します。 ■子ども会を入口に様々な地域資源をネットワークとしてつなげる取組を全県に推進します。 なお、学校行事やPTA活動については、学校の運営に関するものであるため、本計画には記載していません。
その他	進学について、大学の学部学科が少ないため勉強したいことが鳥取にいとできない。国際系の学部等を増やしてほしい。	—	—	学部の新設については、各大学で判断されるため、本計画では記載していません。 なお、ご意見は担当課にも共有しています。
	進学で他県へ出る人も多いが、県の良さを広め他県からの移住者を増やしていけると良い。	—	—	移住促進策について、県総合戦略などに記載しているため、本計画には記載していません。 なお、ご意見は担当課にも共有しています。
	母塚山の登山道を整備し、ダイヤモンド大山をPRすれば外国人観光客を見込める。	—	—	観光振興に関する内容ですので、本計画には記載していません。 なお、ご意見は担当課にも共有しています。
	市内に行く時間がかかるため市外にも書店があるとよい。	—	—	民間事業者が様々な要素を考慮して判断されるものであるため、本計画には記載していません。 なお、ご意見は担当課にも共有しています。

意見の分類	みなさまの意見	■:計画に書いてある場所と内容 (計画に反映できなかった場合はその理由など)		
	高校生がアルバイトしやすい環境づくりをしてほしい。	—	—	学習環境、家庭の状況、地域の状況など個別の事情が考慮されるべき内容ですので、本計画では記載していません。
	100円バスの日乗車券を再開してほしい。	—	—	交通政策に関する内容ですので、本計画には記載していません。なお、ご意見は担当課にも共有しています。